

令和4年度 子ども大学さやま

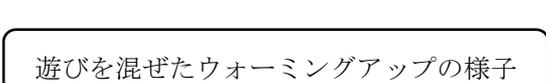
1 実施体制

子ども大学さやま	学長	高橋 暢雄（武蔵野学院大学学長）
	副学長	滝嶋 正司（狭山市教育委員会教育長）
子ども大学さやま実行委員会	実行委員長	田尻 真珠（武蔵野短期大学幼児教育学部講師）
	実行委員 （関係団体）	狭山市教育委員会、武蔵野学院大学・武蔵野短期大学、飯能信用金庫

2 事業内容

開催期間	令和4年10月29日～令和4年12月3日			
参加者数等	定員	30名	応募者数	35名
	参加者数	4年 12名	修了者数	4年 12名
		5年 9名		5年 9名
		6年 9名		6年 9名

3 実施内容

1日目	開催日時	10月29日（土） 10：00～12：00	
	会場	武蔵野学院大学・武蔵野短期大学	
	講義名	「航空業界から学ぶマナーとおもてなし英語」	
はてな学	講師	武蔵野学院大学 准教授 横手 尚子	
2日目	開催日時	11月26日（土） 10：00～12：00	
	会場	武蔵野学院大学・武蔵野短期大学	
	講義名	「遊びながら身体を作ろう ～かけっこ編～」	
ふるさと学	講師	武蔵野学院大学 陸上競技部 コーチ 坂田 和 トレーナー 上久保 利直	

3日目	開催日時	12月3日(土) 10:00~12:00	
	会場	武蔵野学院大学・武蔵野短期大学	
	講義名	「『経済』ってなあに? ～お金の大切さを考えよう～」	
生き方学	講師	飯能信用金庫 四本松 みなみ	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">                 お金に関する3択クイズの様子             </div>

#### 4 新型コロナウイルス感染症対策（工夫した点や苦慮した点など）

- ・ 講義回数を5回から3回に減らした ・ 募集定員を50名から30名に減らした
- ・ 入構時の体温計測 ・ 手指、机、椅子の消毒 ・ 座席の指定（間隔を空ける）
- ・ 大学構内への入構人数制限（小学生1名につき、保護者1名の入構可）

#### 5 参加者の声

参加した子供の声（感想）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3日目の「経済」ってなあに?～お金の大切さを考えよう～が楽しかったです。クイズやカレーを作るゲームなどがあって意味が分からなかった円安や円高が分かった。</li> <li>・ 全部楽しかったけど、特に2回目の「遊びながら身体をつくろう」で、本当に足が速くなってびっくりしました。</li> <li>・ キャビンアテンダントの英語、おもてなしが勉強になった。どのように対応すればよいかがよく分かった。</li> </ul>
保護者の声（感想）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今回も、子ども達から参加したいと、楽しみに通わせて頂きました。参加してみて、学校とは違うことを教えてもらえたと喜んでおり、早速教わったことを自主学習(宿題)にまとめて提出していました。特にキャビンアテンダントの方のお話や英語には興味を持ったようでした。資料を見せて頂きましたが、親でも役立つ内容でした!</li> <li>・ 目に見えてははっきり分かる変化はありませんが、第1・2回共帰宅してから「楽しかった!」と言っていました。大学のキャンパスというあまり入ることのない場所での学びは、子供にとって良い刺激になったと思われ、貴重な経験であることは間違いありません。</li> <li>・ 初めて会うお兄さんやお姉さんと話すこと、違う学校の子と話すことが、楽しかったようです。もともと人見知りだったりするのですが、とても良い経験ができ、成長できたように感じます。強くなったように思います。少しでも大学生のお兄さんたちや先生から何かを感じてほしいと思い参加させてみて良かったです。</li> </ul>